



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月11日

上場会社名 株式会社 リンガーハット 上場取引所 東 福
コード番号 8200 URL https://www.ringerhut.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 佐々野 諸延
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田 昌広 TEL 03-5745-8611
半期報告書提出予定日 2024年10月11日 配当支払開始予定日 2024年11月12日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	21,236	8.2	704	460.4	595	312.7	326	—
2024年2月期中間期	19,631	9.2	125	—	144	692.6	△36	—

(注) 包括利益 2025年2月期中間期 358百万円 (432.1%) 2024年2月期中間期 67百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	12.62	—
2024年2月期中間期	△1.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期中間期	29,635	13,089	44.2	505.20
2024年2月期	28,726	12,860	44.8	496.35

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 13,089百万円 2024年2月期 12,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2025年2月期	—	5.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	6.9	1,500	49.3	1,300	16.5	800	6.4	30.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4)中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期中間期	26,067,972株	2024年2月期	26,067,972株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	157,622株	2024年2月期	158,783株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年2月期中間期	25,909,759株	2024年2月期中間期	25,906,993株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 本資料のサマリー情報、【添付資料】「経営成績に関する説明」及び「セグメント情報等」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(中間連結損益計算書に関する注記)	11
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12
3. 補足情報	13

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済環境は、高い賃上げ率による所得環境の改善が行なわれている一方、緩やかに回復傾向にあった個人消費は伸び悩んでいる状況が続いております。また、円安や物価高の影響により先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、昨年からの行動制限緩和による外食機会の増加に伴い、来店客数は順調に回復しておりますが、物価高騰により実質消費を抑制している傾向となっております。また、原材料費・光熱費の高騰や継続的な採用難など、依然として事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社グループは国産野菜の使用など、食の「安全・安心・健康」に継続して取り組むとともに、『全員参加で、成長へのアクセラを踏み込もう』をスローガンに、企業価値向上に努めてまいりました。2014年より日本の野菜をより好きになり、食の大切さを学んで頂くことを目的とし、対面とオンラインで食育教室を開催してまいりましたが、新たな取り組みとして、2024年より株主様限定での食育教室も開催いたしました。

また、店舗での電力・動力・ガスの使用量前年比3%削減を目標とする省エネ活動「リンガーチャレンジ2030」を引き続き実施し、温室効果ガス削減に向けて取り組んでおります。

出退店につきましては、11店舗を出店し13店舗を退店した結果、当中間連結会計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内643店舗、海外10店舗の計653店舗(うちフランチャイズ店舗158店舗)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は212億36百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は7億4百万円(前年同期比460.4%増)、経常利益は5億95百万円(前年同期比312.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億26百万円(前年同期親会社株主に帰属する中間純損失36百万円)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、6月より唐辛子とファージョオイルの辛味が溶けだしたとんこつベースのスープに、キレのある辛みの肉味噌をトッピングしました「夏辛ちゃんぽん」を販売いたしました。辛いメニューがお好きなお客様にぜひ味わっていただきたい商品となっております。

また、長崎ちゃんぽん専門店「リンガーハット」の第1号店である「リンガーハット長崎宿町店」が2024年8月13日に50周年を迎えました。ウェイティングスペースには、リンガーハット50年の歴史を振り返るパネルを設置するなど、内装もリニューアルし、より快適に過ごしていただけるような店舗となりました。

出退店につきましては、7店舗を出店し11店舗を退店した結果、当中間連結会計期間末の店舗数は、国内で558店舗、海外で8店舗、合計566店舗(うちフランチャイズ店舗141店舗)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の既存店売上高前年比率は108.6%となり、売上高は171億39百万円(前年同期比9.5%増)、営業利益は4億88百万円(前年同期比1,433.2%増)となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ濱かつ」では、季節商品として「梅しそ巻シリーズ」のメニュー3種類を販売いたしました。これらの商品はヒレ肉とバラ肉の2種類の豚肉を重ね、和歌山県産の南高梅と青しそを巻き、柔らかくジューシーに仕上げたとんかつとなっております。

出退店につきましては、4店舗を出店し2店舗を退店した結果、当中間連結会計期間末の店舗数は国内で85店舗*、海外で2店舗、合計87店舗(うちフランチャイズ店舗17店舗)となりました。(*和食業態の長崎卓袱浜勝を含む)

出店したうちの1店舗については、5年ぶりにタイへ出店した「濱かつバンコクアーリー店」となります。バンコク中心部への出店によって、より多くのタイの方に「濱かつ」を知っていただき、気軽にとんかつや日本食を召し上がっていただく機会を増やすことを目指します。

また、国内では総菜専門店2店舗目となる「濱かつ 岩田屋本店」が7月26日にオープンいたしました。とんかつやお弁当など豊富な種類を取りそろえたテイクアウト専門店となっており、店舗限定商品なども取り扱っております。幅広い層のお客さまから愛される店づくりを行なってまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の既存店売上高前年比率は99.6%となり、売上高は39億96百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は1億90百万円(前年同期比38.3%増)となりました。

（設備メンテナンス事業）

設備メンテナンス事業は、当社グループ内における直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全などが主な事業内容であり、当中間連結会計期間の売上高は、9億4百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益97百万円（前年同期比32.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億8百万円増加し、296億35百万円となりました。これは主に当中間連結会計期間末が土曜日だったことによる債権回収の後ろ倒しのため売掛金および未収入金が7億11百万円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ6億79百万円増加し、165億45百万円となりました。これは主に長期借入金が増加した3億28百万円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ2億29百万円増加し、130億89百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加した1億96百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想につきましては、2024年4月12日に発表した前回予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,293,105	2,233,168
売掛金	1,296,903	1,643,317
商品及び製品	203,640	218,706
仕掛品	3,921	61,845
原材料及び貯蔵品	416,321	371,635
前払費用	263,157	311,608
未収入金	682,457	1,047,339
その他	183,111	215,083
貸倒引当金	△75,293	△71,407
流動資産合計	5,267,326	6,031,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,433,426	9,787,320
機械装置及び運搬具(純額)	1,586,649	1,518,068
土地	5,796,886	5,811,467
リース資産(純額)	56,851	58,175
建設仮勘定	239,930	15,223
その他(純額)	1,010,944	1,084,000
有形固定資産合計	18,124,687	18,274,256
無形固定資産	389,928	408,246
投資その他の資産		
投資有価証券	909,626	862,315
繰延税金資産	591,956	594,871
退職給付に係る資産	72,195	83,284
差入保証金	834,132	842,342
建設協力金	55,383	52,180
敷金	2,281,506	2,276,125
その他	200,118	210,681
投資その他の資産合計	4,944,918	4,921,801
固定資産合計	23,459,534	23,604,304
資産合計	28,726,861	29,635,603

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	758,293	904,239
1年内返済予定の長期借入金	5,733,670	3,144,699
リース債務	59,624	67,931
未払金	749,115	596,743
未払費用	1,252,339	1,615,039
未払法人税等	212,010	258,626
未払消費税等	427,734	295,656
株主優待引当金	101,209	97,372
店舗閉鎖損失引当金	3,207	—
資産除去債務	30,245	23,401
その他	574,102	590,552
流動負債合計	9,901,554	7,594,262
固定負債		
長期借入金	2,917,976	5,835,555
長期未払金	15,023	20,630
リース債務	68,087	120,348
株式給付引当金	123,012	120,700
退職給付に係る負債	996,286	1,030,465
長期預り保証金	301,867	301,867
資産除去債務	1,493,797	1,488,762
繰延税金負債	612	696
その他	48,494	32,476
固定負債合計	5,965,157	8,951,502
負債合計	15,866,712	16,545,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	2,193,474	2,193,474
利益剰余金	1,597,268	1,793,825
自己株式	△346,947	△344,987
株主資本合計	12,446,558	12,645,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	461,674	427,787
為替換算調整勘定	△86,864	△27,184
退職給付に係る調整累計額	38,780	44,160
その他の包括利益累計額合計	413,590	444,763
純資産合計	12,860,148	13,089,839
負債純資産合計	28,726,861	29,635,603

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	19,019,517	20,828,497
売上原価	6,572,655	7,083,901
売上総利益	12,446,862	13,744,595
その他の営業収入	611,748	407,800
営業総利益	13,058,610	14,152,396
販売費及び一般管理費	12,932,933	13,448,076
営業利益	125,676	704,320
営業外収益		
受取利息	1,677	2,985
受取配当金	10,218	11,854
為替差益	61,437	10,046
受取補償金	32,158	—
補助金収入	550	—
その他	18,989	11,073
営業外収益合計	125,031	35,960
営業外費用		
支払利息	84,619	97,516
リース解約損	837	5,020
支払手数料	12,958	22,556
その他	8,026	19,856
営業外費用合計	106,442	144,950
経常利益	144,265	595,330
特別利益		
投資有価証券売却益	—	32,899
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	181
特別利益合計	—	33,080
特別損失		
固定資産売却損	—	7,810
固定資産除却損	24,614	2,539
店舗閉鎖損失	2,924	900
減損損失	62,611	80,438
特別損失合計	90,150	91,687
税金等調整前中間純利益	54,114	536,723
法人税等	90,169	209,835
中間純利益又は中間純損失(△)	△36,054	326,888
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失(△)	△36,054	326,888

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	△36,054	326,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,216	△33,886
為替換算調整勘定	△26,890	59,680
退職給付に係る調整額	45,017	5,380
その他の包括利益合計	103,343	31,173
中間包括利益	67,288	358,061
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	67,288	358,061

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	54,114	536,723
減価償却費	940,700	964,635
減損損失	62,611	80,438
リース解約損	837	5,020
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△4,019	△3,836
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	68,621	34,010
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△824	△11,088
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△5,219	△3,207
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,850	△3,885
受取利息及び受取配当金	△11,896	△14,840
支払手数料	12,958	22,556
支払利息	84,619	97,516
補助金収入	△550	—
受取補償金	△32,158	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△32,899
固定資産売却損益 (△は益)	—	7,810
固定資産除却損	24,614	2,539
店舗閉鎖損失	2,924	900
売上債権の増減額 (△は増加)	△24,616	△345,809
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△56,373	△27,478
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,972	143,834
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△68,899	△123,049
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△183,699	△451,731
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	199,562	352,167
長期末払金の増減額 (△は減少)	△24,029	5,607
預り保証金の増減額 (△は減少)	△18,500	—
その他	△11,603	85,087
小計	1,025,297	1,321,019
利息及び配当金の受取額	11,415	14,417
利息の支払額	△83,387	△93,145
リース解約損の支払額	△3,392	△5,020
補助金の受取額	550	—
補償金の受取額	40,000	—
法人税等の支払額	△124,087	△159,965
法人税等の還付額	88,064	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	954,459	1,077,306
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,746	△14,787
有形固定資産の取得による支出	△851,028	△1,290,356
有形固定資産の売却による収入	—	18,611
無形固定資産の取得による支出	△41,114	△118
建設協力金等の支払による支出	△46,527	△39,877
建設協力金等の回収による収入	93,455	52,693
投資有価証券の取得による支出	△1,503	△1,529
投資有価証券の売却による収入	—	47,779
その他	△65,891	△57,907
投資活動によるキャッシュ・フロー	△963,356	△1,285,492

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,360,000	—
長期借入れによる収入	—	5,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,499,500	△4,671,392
社債の償還による支出	△50,000	—
自己株式の処分による収入	2,334	2,312
自己株式の取得による支出	△200	△351
配当金の支払額	△1,381	△122,868
借入関連手数料の支払いによる支出	△12,958	△23,288
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△38,827	△41,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240,534	143,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,623	△9,825
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△236,808	△74,724
現金及び現金同等物の期首残高	2,373,229	2,243,465
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,136,421	2,168,740

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
給料手当	5,239,102千円	5,596,407千円
賃借料	2,044,341	2,107,433

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
現金及び預金勘定	2,187,168千円	2,233,168千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△50,746	△64,428
現金及び現金同等物	2,136,421	2,168,740

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぼん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	15,659,044	3,888,039	84,181	19,631,265	—	19,631,265
セグメント間の内部 売上高又は振替高	347	89	727,423	727,860	△727,860	—
計	15,659,392	3,888,128	811,604	20,359,126	△727,860	19,631,265
セグメント利益	31,892	137,879	73,952	243,724	△118,048	125,676

(注) 1. セグメント利益の調整額△118,048千円には、セグメント間取引消去△49,718千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△68,329千円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぼん」セグメントにおいて、当中間連結会計期間中の減損損失の計上額は42,648千円でありませ

ず。「とんかつ」セグメントにおいて、当中間連結会計期間中の減損損失の計上額は19,963千円であります。

II 当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぼん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	17,139,633	3,996,337	100,326	21,236,298	—	21,236,298
セグメント間の内部 売上高又は振替高	91	20	804,233	804,345	△804,345	—
計	17,139,725	3,996,358	904,560	22,040,643	△804,345	21,236,298
セグメント利益	488,989	190,696	97,896	777,582	△73,262	704,320

(注) 1. セグメント利益の調整額△73,262千円には、セグメント間取引消去△26,586千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△46,675千円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぼん」セグメントにおいて、当中間連結会計期間中の減損損失の計上額は67,657千円でありませ

ず。「とんかつ」セグメントにおいて、当中間連結会計期間中の減損損失の計上額は12,781千円であります。

3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぽん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
2025年 2月期 中間期 連結累計 期間	売上高 (百万円)	14,334	4,013	18,347	3,632	859	4,491	1,287	94	24,219
	店舗数 (店)	425	141	566	70	17	87	—	—	653
2024年 2月期 中間期 連結累計 期間	売上高 (百万円)	13,008	3,887	16,896	3,507	872	4,380	1,133	85	22,496
	店舗数 (店)	422	147	569	67	17	84	—	—	653
対前年比率	売上高	110.2%	103.2%	108.6%	103.6%	98.5%	102.5%	113.6%	110.6%	107.7%
	店舗数	100.9%	95.2%	99.5%	104.5%	100.0%	103.6%	—	—	100.0%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。